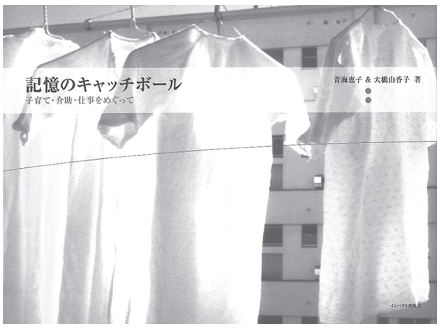

★★★SOSHIREN 女（わたし）のからだから連続講座　第６回★★★

子殺しと子育てのあいだで

――70 年代リブ、優生保護法、そして現在（いま）

記憶のキャッチボール
子育て・介助・仕事をめぐって
青海恵子＆大橋由香子 著
インパクト出版会

９月 23 日（火・秋分の日）

文京区民センター（都営地下鉄三田線「春日駅」、丸の内線・南北線「後楽園駅」すぐ）

■ 第１部　シンポジウム（３Ｃ会議室）

午後１時半〜５時

主催：ＳＯＳＨＩＲＥＮ女（わたし）のからだから
パネラー：秋山洋子　大橋由香子　海妻径子　青海恵子　山田すが子　米津知子
資料代：１０００円　申込は不要・当日会場におこしください。

＊託児やノートテイクを希望される方はご連絡下さい。
どのような対応ができるか一緒に考えたいと思います。

■ 第２部　出版記念パーティ（３Ａ会議室）　午後６時〜８時

呼びかけ：ＳＯＳＨＩＲＥＮ女（わたし）のからだから　秋山洋子　大島かおり
後援：インパクト出版会　　**会費：３５００円（お料理＆飲み物あり）**
スピーチ：麻川まり子　田中美津　若林苗子　市野川容孝　江原由美子　加納実紀代
金井淑子　定塚才恵子　瀬山紀子　高橋寿臣　柘植あづみ　丸本百合子　劇団北斗星

リブ新宿センター資料保存会［編］『リブ新宿センター資料集成』全３冊
青海恵子＆大橋由香子『記憶のキャッチボール　子育て・介助・仕事をめぐって』

70 年代の「リブ新宿センター」の資料集成ができました。ほぼ同時期、『記憶のキャッチボール』という往復書簡も刊行されました。（ともにインパクト出版会）
共通している話題に、優生保護法、「個人的なことは政治的なこと」という思い、＜産む・産まない・産めない＞ことをめぐる女たちの迷い、国家による管理などがあり、編者や著者に、SOSHIREN 関係者がいます。

「産める社会を、産みたい社会を」や、「産む、産まないは女（わたし）が決める」「女（わたし）のからだは私のもの」という主張は、少子化対策が叫ばれる 2008 年、実現したのでしょうか。生殖技術はどんどん進みますが、子どものいない女への視線、産むも地獄・産まぬも地獄の状況は変わったのでしょうか。世代や経験を超えて語りあい、出会い、カンパイする場にしたいと思っています。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

★★

リブニュース
この道ひとすじ
リブ新宿センター資料集成
リブ新宿センター資料集成
パンフレット篇
リブ新宿センター資料集成
ビラ篇
リブ新宿センター資料保存会編
インパクト出版会刊

シンポジウム／パーティ　問合せ先：SOSHIREN 女（わたし）のからだから
東京都新宿区富久町 8-27 ニューライフ新宿東 305 ジョキ内
TEL/FAX03-3353-4474　gogo@soshiren.org
http://www.soshiren.org

★出版記念パーティ参加希望の方はご予約をお願いいたします！　★9月１７日（水）迄

以下のフォームにご記入の上ファックスいただくか、電話・メールにてお名前とご連絡先をお知らせください。

★申込先：インパクト出版会
電話 03-3818-7576　FAX 03-3818-8676　e メール impact@jca.apc.org

『リブ新宿センター資料集成』『記憶のキャッチボール』出版記念パーティに

□参加いたします　★お名前＿＿＿＿＿＿＿＿　★ご連絡先（電話または e メール）

□参加できませんが、ひとことメッセージ　＿＿＿＿＿＿＿＿